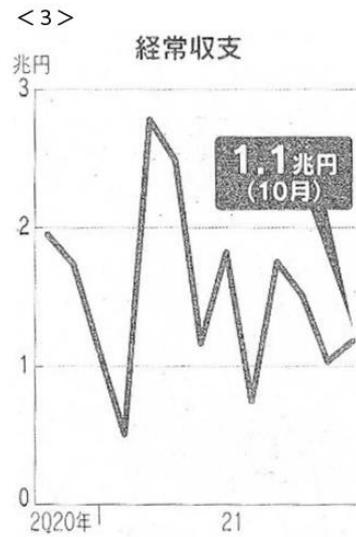
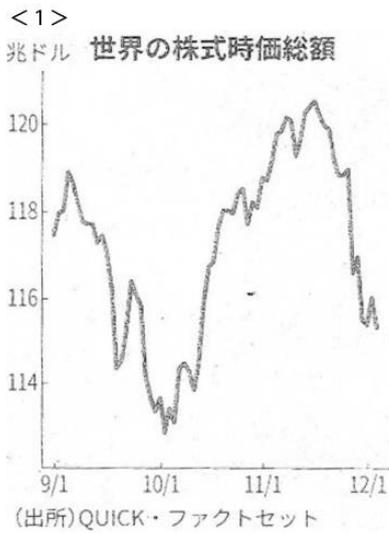


- 12/06・世界の時価総額 410 兆円減 オミクロン型 1 週間、市場なお警戒 <1>
- ・オミクロン、40 ヶ国に拡大 英で最多、南ア上回る 冬の北半球、従来型も警戒
 - ・米「台湾侵攻の演習か」国防長官 中国軍機の防空圏侵入で
- 12/07・岸田首相所信表明 デジタル・脱炭素で成長 問われる具体策
- ・インド、ロシアと防衛強化 軍事技術協力 10 年間 首脳会談 米、反発の可能性
兵器共同生産、宇宙研究など 28 項目で合意
 - ・NY 株が大幅反発 バイデン政権医療顧問「重症化の度合いそれほど高くない」
 - ・10 月消費支出 0.6%減 3 ヶ月連続 宣言解除後も低迷
- 12/08・米、北京五輪外交ボイコット 人権弾圧に抗議 選手団は派遣 中国「対抗措置」
- ・オミクロン型重症化、南アで少なく ワクチンに一定の効果 検証に時間
 - ・米ロ首脳オンライン協議 (7 日) ウクライナ巡り応酬 対話は継続 <2>
バイデン氏「侵攻なら経済措置」 米、弱まる抑止力 国際関与に慎重 中国も見透かす
 - ・10 月経常黒字 39%減 車輸出停滞など響く <3>
 - ・米貿易赤字、10 月 14.2%減 中国向け伸びる
- 12/09・人民元が高値 3 年 7 ヶ月ぶり 対ドルで上昇 輸出、証券投資資金流入増で
- ・市場、FRB「政策ミス」警戒 急激な引締め景気冷やす恐れ
 - ・米、ガソリン高に苦慮 資源開発、気候対策と板挟み
 - ・カナダも外交ボイコット 北京五輪 米豪英に続く IOC 会長、静観
 - ・米軍ウクライナ派遣否定 バイデン氏、ロシア侵攻でも
 - ・米求人数、高水準続く 10 月 採用数との差、過去最高 <4>
- 12/10・米緩和縮小、新興国揺らす ブラジルなど 32 ヶ国、相次ぎ利上げ <5>
- 弱い景気に追い打ち 高インフレも深刻
- ・企業物価 41 年ぶり (1980 年 12 月以来) 伸び率 11 月 9.0%上昇 資源高・円安で
- 12/11・米消費者物価 6.8%上昇 11 月、39 年ぶり高水準
- ・自民・公明税制大綱決定 賃上げ減税 1000 億円台 企業の利用見通せず
財源論議は棚上げ 脱炭素や分配先延ばし 賃上げ、市場ゆがむ恐れ
 - ・民主主義サミット 中ロが反発「対立を扇動」 米の選別、除外国も批判
人権侵害阻止へ輸出管理 監視技術悪用防ぐ 米が枠組み発表 豪など参加
米、影響力低下浮き彫り 結束、成果は未知数



<2>
NATOはソ連崩壊後に東方に拡大した
■はソ連崩壊前から、■は崩壊後の加盟国

